

# Weekly Report

よいことの  
ために  
手を取りあおう

●2025-26年度  
国際ロータリー  
会長メッセージ

RI 会長 フランチェスコ・アレツォ

Rotary



東京八王子西  
ロータリークラブ

## Report

2025-26 No.11 令和8年1月23日

●会長標語

会長 相川 博

ロータリーで人生を豊かに

### 今週のプログラム

- 第2848回(1/23)
- 会場 京王プラザホテル八王子

- \* 一般社団法人 CHUO EKIDEN CLUB  
代表理事 花田俊輔 氏  
テーマ「箱根駅伝優勝に向けた一般社団法人  
CHUO EKIDEN CLUBの取り組みについて」
- \* 八王子消防少年団へ助成金贈呈

### 次回のプログラム

- 第2849回(1/30)
- 会場 京王プラザホテル八王子

- \* 埼玉西武ライオンズ  
レディーズ監督 出口彩香 氏  
テーマ「チームワークとリーダーシップについて」

# 令和8年 初例会

新春の初祝は、三祝・年男・喜寿・傘寿・卒寿のお祝い  
おめでとうございます



GOOD

ロータリーで人生を豊かに

Rotary  
Club of  
Tokyo Hachioji West

東京八王子西ロータリー 会長 相川 博



## 例会報告

第2846回●2026・1・9(金)

◇司会 小松政人会場監督補佐

◇開会点鐘 相川 博会長

◇君が代斉唱

◇Rソング 奉仕の理想

◇乾杯 山口 寛直前会長

◇食事と交歓 新春らしい和食

◇出席報告

橋本孝出席副委員長

会員118名中78名出席。

出席率69・03%。前々回12月

12日の出席率53・10%を

61・47%に修正します。

◇ニコニコ発表

福田邦人財務委員長

◇会長挨拶 相川 博会長



会長挨拶／  
相川 博会長

\*改めまして本年もどうぞよろしく  
お願い申し上げます。皆さまにおかれま  
しては、健康やかに新年をお迎えに  
なれたことと思います。

\*昨年7月にこの年度がスタートし  
まして、早6ヶ月が過ぎました。予定  
されていた事業も順調に推移して  
おります。また、この歴史と伝統に  
あふれた我がクラブに6名の新会  
員をお迎えすることができ、新しい  
息吹を吹き込んでいただいて、大  
変うれしく思っております。

ります。

\*今年度は会員増強の目標を125名としており、残りの半年で7名増を目指したいと思っておりますので、皆さま方のご協力をお願い申し上げます。

\*この年度の最大の目標は、5月23日に行われる創立60周年の周年行事であります。この行事を成功裏に導いて、三村会長年度から始まる、次の10年に向けて新たな基礎を創り上げたいと考えております。ぜひ会員全員にご協力いただき、一丸となつて進めて行きたいと思っておりますので、ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

\*このクラブが更に発展できますように、粉骨砕身頑張つてまいりますので、皆さま方のご指導とご協力を改めてお願いする次第です。

#### ◆幹事報告 立花 探幹事

\*会費納入のお願いをFAX及びメールでお送りいたします。下期会費は15万円、予納金は周年行事のため今年度のみ2万5千円、合計17万5千円を1/31までにお納めください。

\*ガバナ―月信1月号の11月末時点の会員数ページをテーブルに配布しております。

\*メールボックスには、ウィークリー第10号、ロータリーの友1月号、八王子市防犯課からの補助金のお知らせを配布し

ております。

\*2/6(金)は地区大会に振替のため、京王プラザホテル八王子での通常例会はございません。

#### ◆委員会報告

松村光親睦・家族副委員長

◆年男・卒寿・傘寿・喜寿・三祝(順不同 会員敬称略)

#### \*年男

黒須隆一、坂下幸夫  
城所正雄、山口 寛

佐々木 章、諸星宗幸  
洲上 安、伊藤則久(還暦)

草間 剛、久保朝陽(還暦)

長尾 健、小林康晃

#### \*卒寿

鈴木重春

#### \*傘寿

馬場榮次、山本正光

#### \*喜寿

野口文男、三浦眞一  
福田邦人

#### \*会員誕生祝

黒須隆一、金子裕二  
末木 博、伊藤則久(還暦)

坂本健造、小林秀司

\*会員令夫人、御夫君誕生祝

関安基子様、橋本裕子様  
相川京子様、八木理絵様

秋間貴子様、黒須絹子様  
北澤さゆり様、佐々木玲子様

水落君子様

#### \*結婚記念祝

檜崎 博、村井隆三  
坂本健造、吉森邦博

相川 博、瀬沼庄次郎  
峯尾光成、岩田祐樹

檜崎雅彦、岸田功典

◆新春の舞い 八王子芸妓衆

◆閉会点鐘 相川 博会長

#### ◆閉会点鐘

相川 博会長



卒寿・傘寿・喜寿祝・年男

鈴木重春 80歳(卒寿)

馬場榮次 80歳(傘寿)

山口正光 80歳(傘寿)

山本正男 77歳(喜寿)

野口文男 77歳(喜寿)

三浦眞一 77歳(喜寿)

福田邦人 77歳(喜寿)

黒須隆一 84歳(年男)

坂下幸夫 84歳(年男)

城所正雄 84歳(年男)

山口寛 72歳(年男)

佐々木章 72歳(年男)

諸星宗幸 72歳(年男)

伊藤則久 60歳(年男)

洲上安 60歳(年男)

久保朝陽 60歳(年男)

長尾健 48歳(年男)

小林康晃 48歳(年男)

黒須隆一 84歳(還暦)

金子裕二 70歳(還暦)

末木博 63歳(還暦)

伊藤則久 60歳(還暦)

坂本健造 57歳(還暦)

小林秀司 52歳(還暦)

関安基子様 誕生祝

橋本裕子様 誕生祝

相川京子様 誕生祝

八木理絵様 誕生祝

秋間貴子様 誕生祝

黒須絹子様 誕生祝

北澤さゆり様 誕生祝

佐々木玲子様 誕生祝

水落君子様 誕生祝

結婚記念祝

檜崎博 41歳(還暦)

村井隆三 55歳(還暦)

坂本健造 32歳(還暦)

吉森邦博 31歳(還暦)

相川博 30歳(還暦)

瀬沼庄次郎 27歳(還暦)

順不同・会員敬称略



# Initiation Speech

伊藤 弘造会員

2026年1月16日(金)

Io Kozo  
伊藤 弘造

通信業  
NTT東日本株式会社 東京西支店  
支店長  
2024年8月入会 親睦・家族委員会



私は1975年生まれの50歳で、生まれは大阪府寝屋川市、育ちは神奈川県藤沢市です。

現在、NTT東日本で働かせていただいています。

家族構成は、家内と、ダックス1匹という構成で、趣味は家族と一緒にいく温泉旅行や散歩・街歩きです。ゴルフも大好きですが、現在は、腰を痛め、ゴルフは少しお休み期間中です。

まず、自分のルーツについてですが、親族の中で結構先生が多いのが特徴です。

私自身も、過去、仕事で文部科学省さんや教育委員会さん等の教育機関とお仕事をさせていただいた際、不思議と、将来の日本を支える子供たちのために、仕事をしていることに大きな遣り甲斐を感じました。

また、現在、仕事をしている中で、何よりも社員の成長を確認したときに強い喜びを感じる自分がおり、どこかで私にもそういった教育や人を育てることに喜びを感じるDNAが入っているのだと感じています。

社会人になるまでの経歴としては、大阪の寝屋川で生まれた後、親の転勤にあわせて、小田原、藤沢と引っ越し、浪人時代を含めて、小中高大と、社会人になるまで藤沢市で育ったという経歴です。

少しだけ掘り下げてみました。横軸に時間、縦軸をその瞬間の幸福度という形でまとめています。また、NTTの社員らしく、下のところにその時代時代にお世話になった通信機器を並べました。

まずは**黒電話時代の幼少期**と小中学校についてです。

大阪で生まれましたが、幼稚園の途中で親の転勤によって小田原へ、小学校に入学前に藤沢に引っ越します。引っ越しの際は、地域・地域で知り合った友

達と別れるのは寂しかった記憶があります。

小学校は自宅の近くの学校に入学しました。幼少のころから喘息を持っていた、病院の勧めで、体力をつけるために、近所のスイミングスクールに通っていました。そのため、体力は人並みには、持ち合わせていたと思います。

そのような中、野球に出会います。今もそうですが、私は、高校野球が大好きでした。ちなみに、当時は徳島の池田高校が強かった時代。池田の水野や江上に憧れ、彼らのやまびこ打線の破壊力に心を奪われていました。そのあと、その池田を倒したPL学園の桑田、清原の強さにびびりながらテレビにかじりついて、見ていたことを思い出します。

当時の私の夢は、無謀にも、将来は甲子園で優勝して、阪神タイガースのエースになることでしたので、地域の少年野球チームに入団しました。入団当初は鳴かず飛ばずでしたが、恩人でもあるコーチに出会い、野球の魅力を教えてもらいました。その後、努力し、小学6年生では憧れのエース番号をつけさせてもらいました。中学校に入っても野球を続けましたが、小学時代に発症した野球肘が再発し、ボールが投げられない状態になってしまいました。何度かリハ

ビリをしました。再発を繰り返し、地域の整形外科の先生から、「野球はあきらめたほうがよい」と言われ、野球選手の道を断念しました。よっぽど投げ方が下手だったのだと思います。

一方で、勉強はというと全く得意ではありませんでした。

中学入学後の初めての中間試験では、学年で下から50番目、12クラスありましたので、全生徒数は500人程度。先ほど、お話ししましたが、教師でもある親や親族はさぞかし私のことを心配したことと思います。ただ、不思議と「勉強しなさい!」といった言葉はあまり投げかけられませんでした。我慢強く見守ってくれた親に感謝しています。

その後、さすがにまずいかなと自分でも感じ、まずは勉強の仕方を学ぶところから始め、少しずつ、学力もついていき、最終的には高校受験も無事に第一志望に合格することができました。

続いて、**コードレス電話機の時代の高校です。**

この時期は、私の人生の中で、最も幸福度が高い時期になります。

私の通った高校はとにかく自由。部活と、毎年1年がかりで準備する体育祭に没頭しました。部活は、野球肘とは関係ないという先生の話もあり、ハンド

ボールを高校から始めました。

高校三年生になり、引退を掛けた大会で、勝つことは不可能と思われた、神奈川県では強豪の私立の桐蔭学園に勝つことができました。OBの方と一緒に、相手チームの分析を徹底的に行い、勝つための戦略・戦術を考える、こういった努力をすれば不可能が可能になることを学びました。

しかしながら、次の試合、ノーマークの公立校に負け、結果ベスト12で終わりました。

油断や戦術がない中で出てくる結果の恐ろしさも、併せて学ばせていただきました。

私の人生の中で一番体力のあつたところで、とにかく走り、走り、どれだけ食べても太らない状態、今より体重が20kg以上痩せていました。かわいい彼女もでき、高校の充実した3年間はあつという間に終わってしまいました。

部活や遊びには没頭しましたが、勉強は全くしていませんでした。結果、比較的頭のいい高校に入学できましたが、卒業時には大ばか者になっていました。ただ、これは私だけではなくこの高校の伝統でして、高校の先輩から伝えられていた格言で、大学受験に対して「現役・偶然、一浪・二浪・三浪・平然・三浪・啞然」高校3年生の次は、高校4年生で駿台予備校、高校5年生で駿台予備校というものがあり、浪人当然の文化がありました。で

すので、高校3年生までは徹底的にやりたいことをして、そのあと予備校に入学し、当然と言われている一浪の世界で、高校1年の勉強からじつくりやつていう、と考えていました。

ところが、私の実家はそれほど裕福ではなかったためか、親からは、「一浪禁止令が発令され、結果的に一浪で大学に入学することになります。」

そして、**ボケベルの時代**の大学生になります。

わたしが進学した大学は、学生数の少ない、小さな大学でした。加えて私は理系でしたので、女子大生も極めて少なかった。更に、体育会は弱く、サークルはありますが、なんか雰囲気合わずと、イメージしていた大学生活とは大きく乖離していました。そういう感覚・状況でしたので、このままでは楽しい大学生活を送ることができない、という課題が出てきました。

そこで、仲間と大学非公認のイベント・サークルを作ることになりました。男性は自分の大学、女性は大女子大というルールを決めて、1つ下の女子大の新入生をターゲットに、他大へアプローチし、新歓コンパをしました。すると、私たちの仲間が恰好のよい男が何人かいたお陰か、意外にもサークルに入会したいという人が多数集まり始めました。

ただ、サークルを運営していくためにはカネが必要で、如何にカネを作るかという次の課題が

できました。

私は家庭教師をやっていました。ただ、単金はいいが、あまりまとまった金にならない。そこで、藤沢駅近くにある、地元では有名な中華料理屋である「銀座アスター」というお店で仕事を始めました。

このお店は当時通常のお客様の対応に加えて、VIPルームが4部屋、250人の披露宴ができるという、それなりの規模の店でした。調理場・厨房は全員、プロ、フロアについてもボーイ、ただバイトに対してもボナスを出すというスタイルで準社員という扱いでした。

入ってみると、仕事はハードでした。最初は、お客様が使われた山のような食器を片付ける作業や、ビール等の飲み物を複数の冷蔵庫に補充するという肉体労働から始まります。

3か月くらいすると、浪人時代になまらせてしまった高校時代の筋肉がよみがえってきたような気がしました。

そのうち、バイトの先輩たちからも、「コイツ頑張るな」と認めてくれるようになり、少しずつ料理を運ばせていただけのようになり、運ばせていただく料理は、これまで見たこともない高級素材を使った料理の数々。おまけに、「熱い料理は熱いうちに、最高の状態でお客様に召し上がっていただく。」を大切にしている店だったので、厨房から出てくる多くの料理を丁

寧に、迅速に運ばなければなりません。特にランチは大変でした。そのうち、プロの調理場の方々から飲みのお誘いをいただけるようになりました。

調理場さんは、厳しそうな方が多かったのですが、飲んでみると皆さんとても明るい方ばかり。また、ご実家が中華料理屋で、将来のために料理を学んでいる方が多く、皆さん、真剣に料理と向き合っている感じがしました。そのような中で、家庭でもつくれる旨いチャーハンの作り方などを含め、中華料理の奥深さと面白さを教えていただきました。

その後、料理を運ぶことから、料理の説明をしてオーダーを取ることに仕事がシフトします。調理場の皆さんから教えていただいた内容を元に、料理の説明をする、お客様から喜ばれました。また、お客様に関する情報共有、料理の出す順番、調理場の皆さんとの連携を大切にしたい、バイトながらお客様に満足していただくことを真剣に取り組みました。

さらにその後、当時はあつたVIPルームを担当させていただくこととなりました。

VIPルームはその名の通り、地域のVIPの方々による接待や忘年会等もありました。が、地域柄、結婚前の顔合わせや、法事といった家族の大切な行事が多くありました。少しでも、よいおもてなしができない

か、バイトながらいろいろ工夫をしながら対応していたことを思い出します。

「肉体労働担当→料理を運ぶ担当→オーダー担当→VIPルーム担当」

という形で担当が推移していくのですが、お客様に最高のおもてなしをするためには、調理場さんと一体となつて対応することがとても大切であること等、大変勉強になりました。

結局、大学時代3年はこの店でバイトをさせていただくことになりました。

一方で、大学での勉強はあまり楽しくなかった。バイトの方が社会にふれている感じがして楽しかった。そこで、バイト先でお世話になっていた、恩人である社員の方に「大学を辞めたい。雇ってくれないか」と相談したところ、「雇ってやつてもいいが、焦つて判断せずに、大学は出た方がよい」と、ご本人はお酒を飲めないのに、居酒屋に連れていっていただき、切々と社会人の厳しさや、学生の感覚の甘さ等を教えていただきました。

そこから、心機一転。なんとか単位を取って卒業することができました。

また、何人かの恩人に救われて、就職活動も志望する企業から内定をもらうことができて、無事に社会人になることができました。

ここからは社会人になつてからです。

1998年にNTTに入社、翌年1999年7月に東西、COM、持株会社と分割され、分割当時、私は神奈川支店にいたため、東日本に在籍することとなりました。

業務としては、3年間の経営企画部での業務を除きますと、そのほとんどが法人営業の業務に従事してきたことになりました。加えて、お客様も、公共分野で地方自治体や中央省庁への営業を中心に担当させていただきました。

まず、**iモード等の携帯電話時代の20代から30代です。**

入社させていただいたNTTは、当時は大量採用をしていました。同期は1500人程度、入社式の際、伊藤という苗字だけで50人くらいいたと記憶しています。

また、当時はとても人気のあった企業でした。

結果、同期には、優秀な方が多く、語学に長けていたり、飛び級で1年早く大学院を卒業した方、既にSEとしての基礎知識を持ち合わせている方、等々。同期の凄さには圧倒されました。それでも、勉強もしながら、何よりも、現場で様々なトラブル含めて実践していくうちに、少しずつ仕事にも慣れ、少しずつ仕事の楽しさを感じるようになりました。

当時は支店で仕事をしていましたが、30歳になる前に本社に異動することになりました。



本社に行くと、支店とは異なる凄さがありました。専門性、先進性、規模の大きさ、支店とは異なる世界でした。

支店時代同様、現場で実践していき、少しずつ経験していきますと、業務には何とかついてけるようになります。

そのころ、恩人である、ある先輩に出会います。

その方は能力がわたしより圧倒的に高い。広さも深さも、私の知らないことを沢山知っている。出来の悪い私にもホントに良くしていただきました。そのような方と触れ合っている中、ふとした瞬間に、自分がこれまでちゃんと勉強をしてこなかったことに気付き、自費で、会社で働きながら、大学院で勉強することを決めました。

毎日ではないものの、仕事もしながらでしたので、睡眠時間は3〜4時間という生活が多かったです。

仕事をしながら勉強するというのは、学んだことを、即、仕事に反映できる。また、教授陣がアカデミックな方ではなく、様々な会社で活躍されている経営者の方々でしたので、実践的な学びが多く、仕事に対する観点や幅が広がることに、面白さを感じるようにになりました。

そして**スマホ時代の40代**です。

突然、会社から縁もゆかりもない秋田への異動を命じられました。

最初は戸惑いましたが、それでも秋田に行ってみると、そこでも恩人に出会うことができました。

その方はとつてもとつても厳しいながらも温かく接していただき、さまざまな気付きや大切にするべきことを教えていただきました。今でもその時学ばせていただいたことを思い出すことがあります。

一方で、初の雪国での生活。本当に寒かったです。寒いのみならず、安いアパートに住んでいたもので、脆弱な水道管が凍結して、水の使えない生活を経験しました。こいつは本当にきつかったです。

それでも、秋田はよかったです。まず、春夏秋冬がはっきりしている。特に春。雪が解けて、会社の仲間とゴルフ場に向かう時のテンションは、恐らく雪国でないと味わうことができないものと思います。また、日本酒や郷土料理、そして温泉や夏祭り。今でも年に一度程度、家内と秋田に旅行に行くようになっていきます。3年間の秋田での仕事を終え、都内に帰ってきて、主に公共機関への営業の仕事をさせていただきました。

その中で、家内が調子を崩し、手術をすることになりました。手術をした大病院の先生からは、生命に影響する話ではないという説明をいただいていたのですが、それでも、手術前にサインする書類を見ると、そうと

は取れない内容が記載されています。

親族で大きな手術をするといったケースは初めてだったもので、正直ビビりました。また、自分の努力では家内の健康には役に立つことができないこと。医師にお願いするしかないことに、自分の不甲斐なさや力不足を感じました。それに加えて、いつも当たり前のようにいてくれる家内の存在が、自分にとって、どれだけ大きいものなのかも感じるようになりました。

無事に手術は成功し、家内は元気に帰ってきました。患者の命を救う、痛みを取り除くという、医師という仕事に対して、ここからリスペクトしています。

最後になりますが、今回、スピーチをさせていただくにあたり、改めてこれまでの人生を振り返らせていただきました。

今、自分がここに居ることができているのは、多くの恩人との出会いに恵まれたという幸運があったからというのを、改めて感じましたし、気付かせていただきました。

この気付きをあたえていただいたロータリークラブに感謝しています。

多くの恩人が自分にしていただいたことに、恩返しできるような、世の中、会社、仲間に貢献していきたいと考えています。



## ニコニコボックス

●2026.1.9 (金)

◆相川会長・明けましておめでとうございます。創立60周年の周年行事の成功に向けて、ご協力をお願い申し上げます。

◆立花幹事・本年もよろしくお祈り致します。

◆山口・明けましておめでとうございます。年男、お祝い有難うございます。

◆田辺・今年もよろしくお祈り致します。

◆黒須・午年の誕生日を迎えました。

◆鈴木重春・令和8年度もよろしくお祈り致します。

◆檜崎博・結婚記念日のお花を頂きました。本年もよろしくお祈り致します。

◆菊池・

◆金子・三祝いいただきます。

◆塚本・本年もよろしくお祈り致します。相川会長、あと半年頑張ってください！

◆末木・明けましておめでとうございます。今年もよろしくお祈り致します。お誕生日のお祝いありがとうございます。

◆磯間・明けましておめでとうございます。今年もよろしくお祈り致します。60周年がんばりましょう。

◆角田・昨年は大変お世話になりました。本年も宜しくお祈り申し上げます。

◆諸星・今年もよろしくお祈り致します。年男です。

◆吉森・今月結婚祝いのお花

頂きます。本年もよろしくお祈り致します。

◆赤上、馬場榮次、野口、石森、神辺、関、瀬沼、福田、三村、宮澤、神田、田村、滝島、北澤

誠一、塩野、橋本、長尾、市川、伊藤、則久、井上、大石、大田、森崎、山本俊明、浅川、安藤

謙一郎、池田、鈴木卓、福山・明けましておめでとうございます。本年も宜しくお祈りいたします。



## ニコニコボックス

●2026.1.16 (金)

◆相川会長・伊藤会員のインシエーションスピーチ楽しみます。妻の誕生日プレゼントありがとうございます。

◆立花幹事・伊藤会員のスピーチ楽しみにしています。

◆黒須・先週沢山お祝いを頂きました。

◆粕谷・本年はじめての例会に出席します。本年もどうぞよろしくお祈り致します。

伊藤さん、インシエーションスピーチ頑張ってください。

◆山本正光・今年もよろしく。

◆坂下・先週、年男(84才)の御祝いをいただきました。ありがとうございます。

◆山口、長尾、吉森、加賀美、梅田、小澤・伊藤弘造会員のスピーチを楽しみにしています。

(順不同・会員敬称略)

## 例会報告

第2847回・2026・1・16（金）

## ◇司会

小松政人会場監督補佐

## ◇開会点鐘 相川 博会長

## ◇Rソング 我らの生業

## ◇食事と交歓 洋食

## ◇出席報告

神保好子出席委員長

会員118名中67名出席。

出席率59・29%。前々回12月

19日の出席率66・37%を

76・11%に修正いたします。

## ◇ニコニコ発表

田村肇財務副委員長

## ◇会長挨拶 相川 博会長

＊選挙が近いようですが、ロー

タリーの定款によると、

立候補することも候補者を

支持することもできないこ

とになっていきますので、私は

表立ってお手伝いができな

い立場です。以前、自分では

自民党東京都連の会計責任

者になっていない認識だっ

たのが、役を受けているこ

とになっていたようで、例の

問題があった時に、収支報

告書に私の名前と三文判が

押しあつたことからNH

Kや共同通信や週刊文春の

記者が家にまでやって来て、

初めて「会計責任者」になっ

ていたことに気が付きまし

た。昨年の7月1日からは

会長職になるということも

あり、馬場パスト会長に相

談したところ、ロータリー

の会長職を引き受けるとい

うことは、政党の役員をお

断りする正当な理由になり  
うるとアドバイスをいただ  
き、おかげさまで昨年の6  
月30日付けで会計責任者を  
辞めることができました。  
これは会長になって良かった  
ことのひとつであります。

＊来週の例会には中央大学  
OBの花田さんが卓話にい  
らっしゃいます。箱根駅伝  
の経験者でもあります。去  
年10月の予選会から箱根駅  
伝を見てきて、ケニア等か  
らの留学生と称する人達の  
ことが非常に気になりました。  
2030年には100  
以上の大学が定員割れをす  
るのではないかとという話で  
す。箱根駅伝は2日間で12  
時間も日本テレビで放映さ  
れるので、大学の知名度  
アップの機会であるのは理  
解できます。ただ、ほとんど  
の留学生選手は大学の学費  
や寮費が無料なうえに報酬  
まであるらしく、母国へ多  
額の仕送りをしたり、中に  
は実家に家をプレゼントし  
たという話も聞かれています。  
また、区間賞インタビユー  
を受けている留学生が4年  
生にもなつて日本語を話せ  
ていないのを見るにつけ、  
留学生というのは走るだけ  
ではなく、きちんと勉強も  
しなくてはならないと思い  
ました。この状況はかなり

## 60周年実行委員会だより

NO.8

第8回実行委員会が令和8年1月16日（金）例会後に開催されました。

総務・財務部会から記念式典、祝賀会の招待状及び返信ハガキの案が提出され、次回に招待者名簿を提出すること、又、チラシ第二弾（姉妹クラブ、友好クラブ用の第二部茶会の開催が記載されたもの）の発行が了承された。さらに予算につき現時点での見通し状況が報告されました。

式典部会からは、式典、祝賀会の進行台本が提出され、内容の確認等がおこなわれた。

歓迎部会からは、委員の一覧表（兼務）が提出され了解された。又、台中RCからは30名の会員及び令夫人が訪れるとのことで、晩餐会や茶会の予算や席等について再検討することになった。

事業部会からは、植樹について「ハルニレ」に決定したいとのこと、山桑は取り止め普通の桑木の植樹をお願いすることになった。又、記念プレートは現在検討中との報告がなされた。

記念誌部会からは、記念誌の挨拶文寄稿のお願い書（市長、ガバナー、台中RC会長、ノンケームRC会長宛）や過去10年の会長や会員への原稿依頼分の案文が提出されて了解されました。

「60周年記念」の冠事業として、社会奉仕委員会より提案のありました「お米の贈呈事業」や「武蔵

陵墓地賛同入口記念儀の文字塗装修復工事」が承認されました。

次回実行委員会は令和8年2月20日（金）例会終了後に開催する。



## 創立60周年記念式典及び祝賀会

令和8年5月23日（土）

午後4時より 於 京王プラザホテル八王子

## 東京八王子西ロータリークラブ

〒192-0083 東京都八王子市旭町14番1号

京王プラザホテル八王子 8F

TEL.042-649-3751 FAX.042-649-3753

<https://www.hachioji-west-rc.org>

会長 相川 博 幹事 立花 探

広報委員会 広報委員会 草間 剛 諸星宗幸 浅川立憲  
金子裕二 松島 勝 洲上 安 山本俊明 藤巻 泰